幕末・開国

名前

問1　19世紀半ばの国際情勢を記した年表において、1851年にロンドンで第1回万国博覧会が開催され、その2年後の1853年にはアメリカのニューヨークでも万国博覧会が開催されたことが示されています。当時のイギリスがロンドンで博覧会を開催した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 沖縄県公立入試 類似）

1. ロシアが進めていた南下政策を阻止するために、周辺諸国との軍事同盟を強化するため
2. 産業革命によって発展した自国の圧倒的な工業力や科学技術を、世界に誇示するため
3. 植民地に対する新たな税を課すために、各国の代表者を集めて同意を得るため
4. アメリカのニューヨークで開かれた博覧会に対抗し、アジア諸国との貿易独占を宣言するため

問2　18世紀後半から始まった産業革命によって、世界に先駆けて工業化を成し遂げたイギリスは、圧倒的な工業生産力を背景に世界中に工業製品を輸出しました。当時のイギリスの地位を象徴する呼び名として最も適切なものを選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 自由貿易の先駆者
2. 太陽の沈まぬ帝国
3. 欧州の火薬庫
4. 世界の工場

問3　独立後のアメリカ合衆国で制定された合衆国憲法において、権力の集中を防ぎ国民の自由を守るために採用された、国家権力を立法・行政・司法の三つに分ける仕組みを何と呼びますか。（2025年 長野県公立入試 類似）

1. 社会主義
2. 三権分立
3. 直接民主制
4. 議院内閣制

問4　1850年代にペリーが来航し日本に開国を求めたアメリカが、1860年代に入ると日本における貿易の主導権をイギリスに譲ることになった理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2020年 北海道公立入試 類似）

1. アメリカ国内で深刻な不況が起こり、日本から生糸を輸入する資金が不足したため
2. アメリカがロシアとのクリミア戦争に参戦し、アジアに派遣する艦隊を転用したため
3. アメリカ国内で南北戦争という内戦が始まり、海外への進出が困難になったため
4. アメリカがフランスとの同盟を優先し、日本における商業的権益を譲渡したため

問5　19世紀半ばに清とのアヘン戦争に勝利したことが日本に大きな衝撃を与え、その後、日本国内で起きた生麦事件の報復として鹿児島（薩摩藩）を攻撃した国はどこですか。（2022年 山形県公立入試 類似）

1. ロシア
2. フランス
3. アメリカ
4. イギリス

問6　不平等条約の条項の一つである「関税自主権の欠如」が、当時の日本の経済に与える影響について説明したものとして、最も適切なものを選択してください。（2017年 山口県公立入試 類似）

1. 日本が独自の貨幣を製造することが禁止され、すべての取引を外国通貨で行う必要が生じる。
2. 安価な外国製品が大量に流入した際、高い関税をかけて国内産業を保護することが難しくなる。
3. 外国の商人が日本で商売を行うための場所を、日本政府が自由に指定できなくなる。
4. 日本からの輸出にかかる税金を日本が決めることができないため、貿易赤字が解消されなくなる。

問7　幕末の開国にともなって貿易が開始されると、日本から大量の金貨が国外へ流出する事態となりました。この背景にある、当時の日本と外国における「金と銀の交換比率」の状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 滋賀県公立入試 類似）

1. 日本国内では外国に比べて銀に対する金の価値が非常に高く設定されており、日本の金貨を海外に持ち出して売却すると、多額の銀が得られる状況だった。
2. 日本国内では外国に比べて銀に対する金の価値が低く設定されており、外国人が銀を持ち込んで日本で金に交換すると、国際価格よりも多くの金が手に入る状況だった。
3. 日本と外国の交換比率はほぼ同じであったが、日本の金貨は純度（金の含有量）が極めて高かったため、工業用の地金として海外で需要が高まった。
4. 世界的に金が不足していたため、幕府は不足していた銀を外国から輸入する目的で、国策として金貨を大量に輸出し、外貨獲得を優先した。

問8　日米修好通商条約に基づいて行われた貿易と、その開港場に関する説明として、当時の歴史的背景を正しく述べているものはどれですか。（2026年 新潟県公立入試 類似）

1. 江戸幕府が朝廷から正式な許可を得た上で、外国との対等な貿易を促進するために長崎や鹿児島などの港を広く開放した。
2. 鎖国体制を維持しつつ、特定の5つの港に限定してオランダと中国の2か国のみに貿易を許可する制度が確立された。
3. 日本側に領事裁判権がなく、アメリカ側に関税自主権を認めるという、対等ではない条件で5つの港が開港された。
4. アメリカ側に領事裁判権を認め、日本側に貿易品に対する関税を自主的に決める権利がない状態で、函館や新潟などが開港された。

問9　1858年に江戸幕府がアメリカと結んだ日米修好通商条約の内容において、日本が「関税自主権（かんぜいじしゅけん）」を持たない不平等な条約であったことを示す記述として、最も適切なものを選びなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. 日本が輸入品にかける税率を、自国の判断で決定することができない。
2. 下田や箱館などの港をアメリカに開放し、燃料や食料を供給する。
3. 日本国内で罪を犯したアメリカ人を、日本の法律で裁くことができない。
4. 他国に対して与えた最も有利な条件を、アメリカにも自動的に与える。

問10　日本の歴史における「交易」は、単なる物の売り買いだけでなく、社会の仕組みや技術に大きな変革をもたらしました。中世から近世にかけての交易の背景や影響として、最も適切な記述を選びなさい。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 古墳時代から伝わる鉄の加工技術は、主に北方の民族との交流によって発展し、それが江戸時代の鎖国下における唯一の輸出品となった。
2. 古代から続く鉄の輸入技術は、奈良時代の平城京において仏教建築を支える唯一の手段として、ヨーロッパとの独占貿易により維持された。
3. 江戸時代末期の開国と自由貿易の開始は、欧米列強による圧力はあったものの、幕府が国内産業を保護するために自発的に提案したものである。
4. 16世紀の南蛮貿易によってもたらされた鉄砲や火薬の技術は、それまでの戦い方を変え、織田信長らによる天下統一の動きを加速させた。

問11　日本では江戸幕府が倒れ、戊辰戦争を経て明治維新へと進んでいた19世紀後半、世界各地でも国家の統一や近代化に向けた大きな動きが見られました。この時期のアメリカ合衆国の状況について述べた文として、正しいものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 絶対王政による圧政に対して市民が立ち上がり、人権宣言が採択されて国王が処刑される革命が起きた。
2. イギリスの植民地支配からの独立をめざして戦争が起こり、自由と平等を掲げた独立宣言が発表された。
3. 国王が議会を無視して増税を強行したことから内乱となり、最終的に血を流さずに立憲君主制へと移行した。
4. 自由貿易と奴隷制廃止を求める北部と、保護貿易と奴隷制維持を求める南部が対立し、大規模な内戦が展開された。

問12　日本の歴史における政治的変遷をまとめた資料において、14世紀から19世紀にかけて起こった「建武の新政」「応仁の乱」「寛政の改革」「安政の大獄」という4つの主要な出来事が挙げられています。これらを、発生した時期が古いものから順に正しく並べたものを選びなさい。（2020年 岡山県公立入試 類似）

1. 建武の新政 → 応仁の乱 → 安政の大獄 → 寛政の改革
2. 建武の新政 → 寛政の改革 → 応仁の乱 → 安政の大獄
3. 応仁の乱 → 建武の新政 → 寛政の改革 → 安政の大獄
4. 建武の新政 → 応仁の乱 → 寛政の改革 → 安政の大獄

答え合わせ・解説

問1	答え 2 産業革命によって発展した自国の圧倒的な工業力や科学技術を、世界に誇示するため	1851年のロンドン万国博覧会は、「世界の工場」としての地位を確立していたイギリスが、自国の工業製品を広く紹介し、その優位性を世界に示すために開催されました。当時、ハイドパークには巨大なガラス張りの建物（水晶宮）が建設され、蒸気機関などの最新技術が展示されました。
問2	答え 4 世界の工場	18世紀後半に世界で最も早く産業革命を達成したイギリスは、綿織物などの工業製品を圧倒的な生産力で製造し、世界中に輸出しました。この経済的な優位性を背景に、19世紀半ばにかけてイギリスは「世界の工場」と称されました。なお、「太陽の沈まぬ帝国」は広大な植民地を持つ領土的広がりを指す言葉であり、産業革命期の経済的役割を端的に示す場合は「世界の工場」が適しています。
問3	答え 2 三権分立	モンテスキューが『法の精神』で提唱した考え方に基づき、権力が一箇所に集中して独裁が行われるのを防ぐために導入されました。アメリカ合衆国は、この三権分立を厳格に取り入れた世界初の近代共和制国家となりました。大統領（行政）、連邦議会（立法）、裁判所（司法）がそれぞれ独立し、互いに抑制し合う仕組みになっています。
問4	答え 3 アメリカ国内で南北戦争という内戦が始まり、海外への進出が困難になったため	1861年に発生した南北戦争により、アメリカは国力を国内の戦いに集中させる必要が生じました。この時期、アメリカの入港船数は激減し、その空白を埋める形でイギリスが日本市場でのシェアを拡大させ、貿易の主導権を握る結果となりました。
問5	答え 4 イギリス	清がアヘン戦争でイギリスに敗北したという知らせは、オランダ風説書を通じて日本に伝わり、幕府や知識層に強い危機感を与えました。その後、薩摩藩士がイギリス人を殺傷した生麦事件が発生すると、イギリスはその報復として艦隊を鹿児島に派遣し、薩英戦争を引き起こしました。この一連の出来事は、幕末の日本が攘夷から開国・倒幕へと動く大きな契機となりました。
問6	答え 2 安価な外国製品が大量に流入した際、高い関税をかけて国内産業を保護することが難しくなる。	関税自主権がないということは、自国の産業を守るための調整弁となる税率の設定権を他国に握られている状態を意味します。特に幕末から明治初期にかけて、安価な綿織物などが大量に輸入された際、日本は高い関税をかけて国内の生産者を守ることができず、伝統的な手工業が大きな打撃を受ける原因となりました。
問7	答え 2 日本国内では外国に比べて銀に対する金の価値が低く設定されており、外国人が銀を持ち込んで日本で金に交換すると、国際価格よりも多くの金が手に入る状況だった。	当時の国際的な金銀比価が「金1：銀15」程度であったのに対し、日本国内では「金1：銀5」程度でした。つまり、日本では銀に対する金の価値が外国よりも相対的に低く（安く）設定されていました。このため、外国人は海外で安く手に入れた銀を日本に持ち込んで金に交換し、それを再び海外へ持ち出すだけで、元々の3倍もの金を手に入れることができました。この利ざやを目的とした取引によって、日本の金貨は急速に国外へ流出しました。
問8	答え 4 アメリカ側に領事裁判権を認め、日本側に貿易品に対する関税を自主的に決める権利がない状態で、函館や新潟などが開港された。	日米修好通商条約は、アメリカ側に領事裁判権（治外法権）を認め、日本側に関税自主権がないという不平等な内容でした。この条約によって、函館、神奈川、長崎、兵庫、新潟の5港が開港され、日本は本格的に国際貿易の場へと組み込まれることになりました。貿易の開始により、国内では物価の上昇や産業の混乱が生じ、社会に大きな影響を与えました。
問9	答え 1 日本が輸入品にかける税率を、自国の判断で決定することができない。	関税とは、国内の産業を保護するなどの目的で輸入品に対して課される税金のことです。日米修好通商条約では、この関税の率を日本側が自由に決められず、相手国との協議によって決めることとされました。これにより、安価な外国製品が大量に流入した場合でも高い関税をかけて国内製品を守ることが難しくなり、日本の経済に大きな影響を与える要因となりました。
問10	答え 4 16世紀の南蛮貿易によってもたらされた鉄砲や火薬の技術は、それまでの戦い方を変え、織田信長らによる天下統一の動きを加速させた。	ポルトガル人との南蛮貿易によって伝えられた鉄砲は、従来の騎馬戦術から足軽の集団戦術への転換を促しました。これを取り入れた織田信長は長篠の戦いなどで優位に立ち、国内の統一を進めました。奈良時代に交流があったのは主に中国（唐）や朝鮮半島であり、ヨーロッパとの交流は16世紀以降です。また、幕末の開国はペリーの軍艦による圧力を背景としたもので、幕府にとって自発的な提案ではありません。鉄は古代から輸入に頼る場面が多く、鎖国下の主な輸出品は銀や銅、俵物などでした。
問11	答え 4 自由貿易と奴隷制廃止を求める北部と、保護貿易と奴隷制維持を求める南部が対立し、大規模な内戦が展開された。	日本の幕末から明治維新にかけての時期（1860年代）は、アメリカでは南北戦争が戦われていた時期に相当します。北部はイギリス製品に対抗するため保護貿易を求めましたが、南部は原材料を輸出するため自由貿易を求めるなど、経済面でも対立がありました。他の選択肢は、18世紀のアメリカ独立戦争やフランス革命、17世紀のイギリスにおける名誉革命の説明です。
問12	答え 4 建武の新政 → 応仁の乱 → 寛政の改革 → 安政の大獄	建武の新政は14世紀（1334年）に後醍醐天皇が鎌倉幕府滅亡後に行った政治です。応仁の乱は15世紀（1467年）に室町幕府の将軍後継問題から発生しました。寛政の改革は18世紀後半（1787年）に松平定信が江戸幕府の立て直しを図った改革です。安政の大獄は19世紀半ば（1858年）に井伊直弼が反対勢力を弾圧した事件です。これらは中世から近世、そして幕末へと至る歴史的な流れを示しています。